



施政方針を解き、教育方針を問う

誠心会代表 ● 菅沼 利紀 議員

問 新中郡橋構想、野洲川直轄河川化、国1バイパス4車線化を主軸として会派で活動を重ねて来たが、新中郡橋構想が県アクシオンプランで明記され、石部駅舎の改修も道筋が見えてきた。また直轄化では野洲川をはじめ、市内河川の浚渫に県も重要度を理解し、今後の対応に期待が高まります。4車線化では周辺国道整備以上に必要性を伝える段階ではないか。

答 重点事項として努力を重ねます。

問 クラウドファンディングを活用し、市民を応援する環境を構築するとあります。この手法はもう飽和状態ともいえ、目的、効果その対象とより明確化しなければ、大きな効果を得ることが出来ません。善水寺の検査費のような事業では大

きな効果を期待できませんが、どのような支援であるのか。

答 サイト運営会社と連携し「市民活動プロジェクト」を制度化し、専門アドバイザーによるストーリーづくりや相談支援を行います。

問 ウツクシマツの活用について、守るためには攻める姿勢が大切です。松自体の持つ希少価値を高め、市場で求められるブランド力を創り上げることが、保存できる環境を永久的につくることになり

ます。庭木として市場に出るような環境づくりや盆栽などでの価値の創造などの攻める活用についての考え方は持っておられますか。

答 平成30年に着手する「保存活用計画」の中で具体的な環境を検討していきます。

他18項目について質問

公立甲賀病院組合議会

森 すなお

平成30年第1回
公立甲賀病院組合議会

本年3月28日午後2時から、公立甲賀病院診療棟2階講堂において、平成30年第1回定例会が開催されました。病院管理者から、「公立甲賀病院組合監査委員の選任につき同意を求めることについて」、「公立甲賀病院組合職員定数条例の一部を改正する条例の制定につ

いて」、「平成29年度公立甲賀病院事業会計補正予算(第1号)について」、「平成30年度公立甲賀病院組合一般会計

「平成30年度公立甲賀病院事業会計予算の議決について」の5議案が提案され、議員から通告による質疑が行われた後、全議案が全員賛成で可決されました。なお「公立甲賀病院

事業会計予算」は、平成31年4月の独法化により、今回が最後の議会審議となります。

議員3名からの通告により、「甲賀病院の地方独立行政法人化について」や「4月からの診療報酬改定の影響について」などの一般質問が行われた後、閉会しました。

甲賀広域行政組合議会

松井けい子

平成30年度第一回定例会では、条例改正、平成29年度補正予算、新年度予算案の3議案が提案されました。

手数料条例に関わる施設の数と一部改正の対象となる施設について質疑があり、全体は1252施設で改正対象は2施設で、変更がなければ手数料収入は生じないと答弁。平成30年度一般会計予算で、指定ごみ

袋収入とごみ袋広告料について質疑があり、指定ごみ袋の統一により、在庫を含め、1億4500万円が増収。袋の製造や販売手数料に6300万円が支出。必要経費を差し引いた額が両市に還元されると答弁。生

活環境調査業務委託1670万円の内容、入札について質疑があり、夏季、冬季と2年にわたり大気、騒音、

振動、臭気等の調査を行うことと入札は競争入札と答弁。3議案とも全員賛成で可決しました。

その後、救急出動と病院搬送について仮運用されている「高機能消防指令システム」の効果について。また消防士の防火衣の予備の必要性について一般質問が行われました。